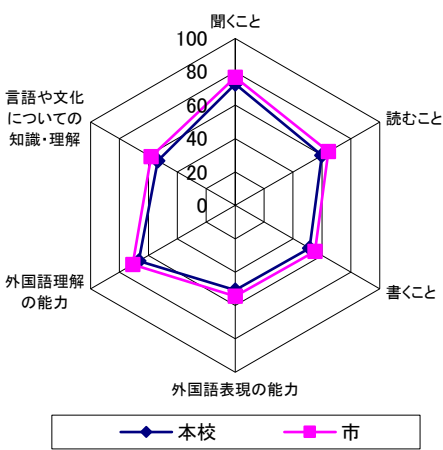


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	72.7	76.8	73.1
	読むこと	60.0	64.5	59.9
	書くこと	51.4	55.3	59.7
観点別	外国語表現の能力	50.8	54.5	59.0
	外国語理解の能力	66.7	70.9	65.9
	言語や文化についての知識・理解	53.5	58.2	60.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。  
(英語では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○英文を聞いてそれに合う絵を選ぶ問題は、市の平均とほぼ同じである。また、対話の内容を聞き取り適切に応答することができるか問う問題は、市の正答率より0.5ポイント高い。 ●対話の内容を聞き取り、資料を基に英語で答える問題は、市の正答率より7.9ポイント低い。	・英語での対話の内容を聞き取ることができるように教科書のリーディングをよく行うなどして、様々な表現の定着を図る。
読むこと	○長文の読み取りは市の平均に近い正答率であった。また、昨年度より若干正答率が上昇した。 ●対話の流れと案内図から登場人物の行き先や発言を判断する問題では、市の平均より8.2ポイント低い。	・語形・語法を問う問題では市の正答率と大きな差は無いことから、基本的な文法は身に付いていると言える。ただし、長文に図や表が含まれると正答率が低くなるので、今後はそのような長文読解を解く練習を取り入れる。
書くこと	○今年度の英作文のテーマが「一番好きな季節」だったので、書きやすかったこともあり、正答率も市の平均より5.1ポイント高い。 ●与えられた情報を基に3人称単数現在の文を正確に書くことにおいては、市の平均より10.8ポイント低い。	・英作文は与えられたテーマによって正答率が高かったり低かったりする。どんなテーマでもある程度の英文が書けるように普段の授業で練習が必要である。また、基本的な文法の定着のために、繰り返し問題演習をしていく。